

児童家庭福祉

令和3年3月9日(火)

・ 10日(水)

【2日間】

ねらい

児童虐待を取り巻く情勢を理解し、子ども家庭福祉行政に携わる職員としての自覚や自信を持ちながら、児童虐待に的確に対応することができる実践的能力の向上を図る。

対 象

子ども家庭支援センターを含む子ども家庭福祉行政に携わる職員等
(心理職を含む)【定員66名】

特に、子ども家庭支援センターに配属されて
1～2年目の方におすすめの研修です。

場 所

特別区職員研修所
(千代田区神田相生町1番地 秋葉原センタープレイスビル4～6階)

カリキュラム

| 3月 | 時間 | 教科目・講師名(敬称略) |
|------------|------------------|---|
| 9日 (火) | 9:00 ～ 10:45 | 社会的養護の現状と課題(講義) 【講師】日本女子大学 人間社会学部 社会福祉学科 教授 林 浩康 |
| | 11:00 ～ 13:00 | 精神疾患を持つ親への育児支援(講義) 【講師】大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻 准教授 蔭山 正子 |
| | 14:00 ～ 17:00 | 支援者と「ゆらぎ」 ～感情労働の視点からセルフケアを考える～(講義・演習) 【講師】白梅学園大学 子ども学部 子ども学科 教授 長谷川 俊雄 |
| 10日 (水) | 9:00 ～ 12:30 | 子どもへのアプローチに活かす面接技法(講義・演習) 【講師】和光大学 現代人間学部 心理教育学科 教授 菅野 恵 |
| | 13:30 ～ 17:00 | 家族支援のあり方を考える(講義・演習) 【講師】明星大学 人文学部 福祉実践学科 常勤教授 川松 亮 |
| 計 | | 2日間(14時間) |